

令和4年度 事業報告

施設長 魚谷 康洋

【全体】

開設から5周年を迎える節目の年であった令和4年度ですが、コロナ禍で様々な活動を自粛せざるを得ない状況でした。新型コロナウイルス感染対策の徹底につきましては、家族の面会制限、同居家族の感染疑いのある職員の出勤停止、積極的なワクチン接種、集合研修の中止、日々の体調管理等について感染対策について留意しておりましたが、残念ながら8月にクラスターが発生いたしました。入居者2名と職員4名が新型コロナウイルスの感染者となりました。感染経路は不明です。2名の入居者につきましては、菊池保健所に指導の下、隔離対応を行い重篤化することなく快方し、又、他の入居者への感染には至りませんでした。

新型コロナウイルス感染予防のため、ボランティアの受け入れや外出行事等は令和4年度も実施できませんでしたが、施設内で実施可能なアクティビティにより入居者の余暇が充実するように料理クラブやカラオケ等を実施いたしました。

職員研修では、年間計画に基づき実施しておりましたが、感染対策の為、職員が密になる集合研修を中止しました。研修の開催方法について課題が残りました。

【入居者推移】

新入居者11名、退居者9名と例年に比べ入居者の入れ替わりの多い年でした。一時的に入居者数が28名までいったものの、退居が続く、入院者数の増加等もあり、年間の一日平均入居者数は23.3名と予算を下回る結果となりました。特に12月、1月は入院日数が100日間を超えております。体調変化が見られた際には早めの医療機関の受診を心掛けておりましたが、このような結果となりました。特に精神科から入居された方が、入居後に精神状態が不安定となり、再入院するというケースが数件ありました。例年にはない入院の傾向でした。経営の安定化のためにも待機者を十分確保することが難しくなっております。

【利用料収入】

前述の通り、一日の平均入居者数が23.3名と低迷したことで年間の利用料収入は1億2000万円で収入が1000万円を下回る月が5ヶ月もありました。特に9月は稼働日数が30日、一日の平均入居者数21.9名で943万円と経営的に厳しい結果となりました。

【職員採用・退職状況】

令和4年度は4名採用し退職者は8名となっております。退職者の大半が非常勤職員で元々の勤務時間や勤務日数が少ない者が多く、職員数がかなり減少したように見えますが、著しくマンパワーが不足する事態にはなりませんでした。

採用活動ではハローワーク経由での応募はゼロでした。有料の求人誌からの採用が3名、人材派遣会社からの派遣が1名でした。インターネットを介した求人には全く応募はありませんでした。

職員定着のために試みとして、新人教育係を固定し、マンツーマン指導を徹底しました。新人職員の知識や技術の習熟度を見ながら教育期間を設定したことで、新人職員の不安やストレスが軽減し、離職者の減少に繋がったと推測いたします。

【総括】

令和3年度に続き、新型コロナウイルス感染対策のために施設内での活動が多岐にわたり制限されました。職員研修や外出行事、会議、避難訓練等の年間計画を立てておりましたが、密を回避するために一部実施できませんでした。また突然に欠勤等の対応に追われた一年でした。

12月に熊本県及び合志市からの指導監査を受けております。規定の内容等について数点細かな指摘事項がございましたが、運営全体について、大きな指摘事項はなく、昨年度中に改善し、行政には改善報告書を提出しております。口頭での指摘事項もございましたので、次年度からの施設運営に反映させていきたいと思っております。